

DOUJIN
R18
ADULT ONLY

Bungo Stray Dogs Fan Book * Odasaku x Dazai
2019.05.05(SUN) Bungo Masterpiece War

春

ノ

雪

Amane Amaya -マルゴナリア-



2019.05.05(SUN) Bungo masterpiece War
Bungo Stray Dogs Fan Book ※ Odasaku × Dazai
Amane Amaya -マルゴナリア-

DOUJIN
R18
ADULT ONLY

春
ノ
雪



DOUJIN
R18
ADULT ONLY

Bungo Stray Dogs Fan Book ※ Odasaku × Dazai
2019.05.05(SUN) Bungo Masterpiece War

春 ノ 雪

Amane Amaya -マルジナリア-

2019.05.05(SUN) Bungo masterpiece War
Bungo Stray Dogs Fan Book ※ Odasaku × Dazai
Amane Amaya -マルジナリア-

DOUJIN
R18
ADULT ONLY

春 ノ 雪











…
ハ
ア

其の春、季節外れの雪が降った――…。

春ノ雪

ハ
ア

ハ
ア…

ハ
ア

ハ
ア



Amane Amaya
- マルゴナリア -



ハア…

ハ…



ハア

ハア

ハア…



寒い…
さむい

寒い
さむい



織田作さん
ペーパーは
如何します？

おお
矢張り
居たあ

ブラック
ゴールドで



やア
二人とも

季節外れの大雪の
夜に出歩くなんて
君達も物好きだねえ

今晚は
太宰君

おう太宰



ほわあーん



安吾
ハウス!!

織田^そ作^この隣は
私の席だ

はいはい...

違う
わんわん

云って
やれよ
安吾

織田作さん
まで...!!



却^{さて}説^て君^{きみ}達^{たち}...

幾らマフィア
だからと云って
堂々と葉^はっ^て葉^はやるのは
如何なものだろう

違いますよ
煙草です!!

手巻き煙草
作ってるん
です!!

なあんだ
シヤグかあ

ほんと見た目も
名前も色々と紛ら
わしいなあー

お、
ミスター
トーマス



...にしても
マメだねえー

巻いてあるやつ
買えばいいのに...
面倒臭あーい

お、お、お、
私の鼻更で
葉^はは^はが
踊^うる^るよ

勿論僕も普段は
出来合のモノを
買ってますがね...

お、お、お、
お、お、お、
お、お、お、
お、お、お、

例えばです

太宰君はよく
プリンを買って
食べています

おお美味しい♡
いつもの味だ

然し
こうも思ったりします

然し今日は私
バニラビーンズ
多めの気分なの
だよ…

ふーむ！



成る程

ええ



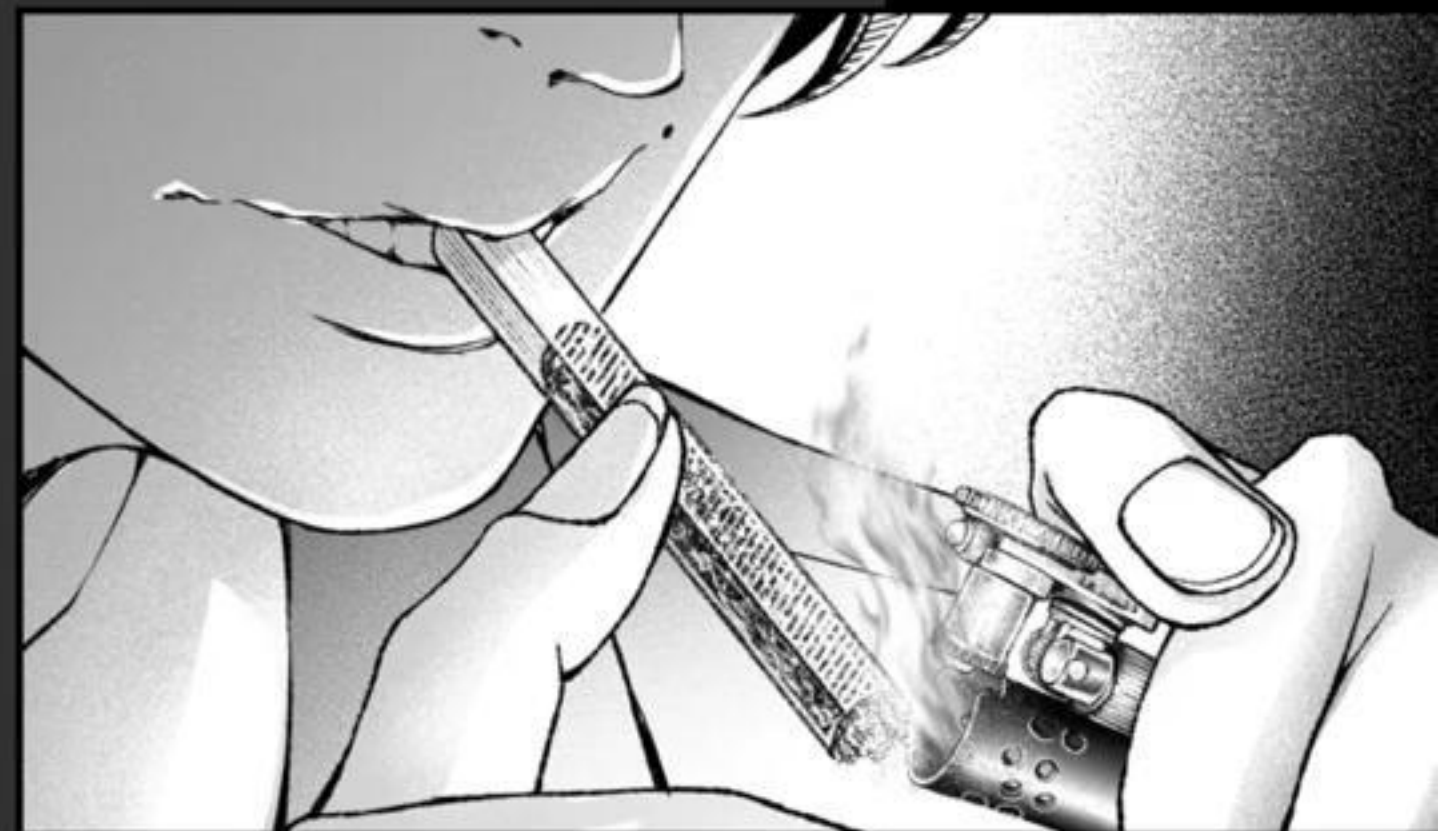
詰まり
料理と同じで
材料と調理法で
多彩な顔を見せる
と云うコトか

これで
よし…と

舐めた…!!

若しや
ソレを織田作
に…?!









ああイイな

前のもイイが
コレは吸った瞬間の
酸味と鼻から抜ける
甘みのギャップがイイ

.....

如何です？



流石だな
安吾

実に
センスが
イイ

お褒めに
預かり
光栄です



やっぱり
美味しいな
手巻きは

ええ
趣もある

産業革命頃
紙巻煙草の登場で煙草は
手軽なモノと相成り
一般庶民にも普及しまし
たが
其れ以前は
葉巻に手巻き……
富裕層の趣向品
でしたからね

そして現在
更なる変革の
都に在る

肩身が
狭いな

まあ健康に
害があるのは
確かですし
当然でしょう

他人の非で病気に
なるのは矢張り
頂けませんから

俺らも考え
なきゃな

…って

どうした？
太宰

確かに

珍しく
静かですね

大丈夫か？
具合悪いか？

確かに
震えてますし
大丈夫です
か？

いやね…
別に大した事
じゃないの
だがね？

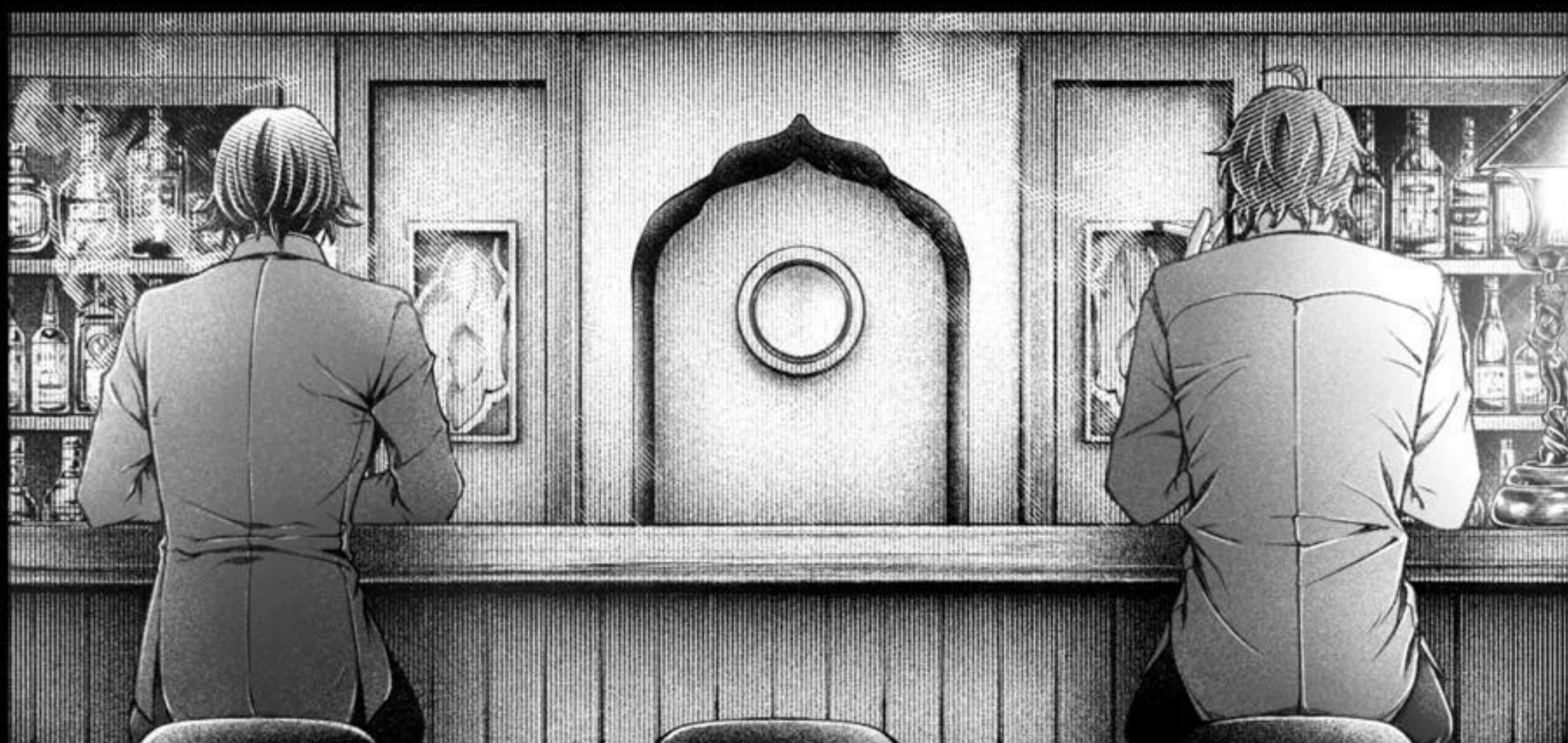
この本はねえ…
私と織田作が
いちやいちゃする本
なのだよ

…にも関わらず
先程の頁で私…何故か
ノドで見切れて
いてねえ…

あは

おまけに頭から
私そっち除けで
二人でいちや
いちやと…

※ノド…製本すると隠れるコノ部分→







ご馳走様

美味かった



ありがとな
色々と――…



じゃあ
お先



!!



まったく…

僕なんか
気を遣う必要なんて
ないのに…

貴方は
太宰君にだけ
優しくしてれば
いいんですよ

安君のロマン
なんかに乗るん
じゃなかった…

織田作之助
『浮城物語』
『浮城物語』
『浮城物語』

……でないと
危なっかしくて
見てられない



一緒に
死んでくれ
と云われれば

一緒に
死んでしまい
そうだ

其れが喩え
敵であつて
も——…



歯ががちがち
するづうづうづう

う

う

うー…寒い…

はあああああ
寒い



矢ッ張り
上着ないと

ホレ
お待たせ

遅くなって
悪かったな



織田作…

おう



どうせまた君の事だ
安吾に云われたから
来たのだろう？

だとしたら
帰った方が
いいか？



………其れは…



大通りまで
送る

さあ
行くぞ

今日の織田作は
ずいぶん要だ。
ト、要くない。







どうした？
太宰

織田作

寒い

ああまた
降って来た
もんな

太宰が
風邪ひく前に
タクシー捕まえ
られるといいが…

織田作

大丈夫か？



織田作
私負んぶは
厭だっ

でも歩くの
大変なん
だろ？



けど厭だっ

負んぶは
卑猥だ
抱っこも

そうか？



両者ともまるで
素股の様だと
思わないかい？

いや…別に

織田作は私をおぶり
歩く振動で私の股間を
君の腰で激しく擦り

私を凌辱しながら
町を闊歩しようと
いうのかい？

太宰お前
俺の返事聞い
てたか？

しいーかあもつ
織田作のことだ

じゃあ
担ぐんなら
いいだろ？

悪いが一回
降りてくれる
か？

そんな私を
知ってか知らぬか
家に着いたら
転がし放置するの
だろう？





太宰……？



……まったく

大人しく
してろよ？

えー何だい？
織田作ー
其れは振り
かね？

期待されると
緊張するでは
ないかあー

なあ
太宰……

俺さ

たまには
素直な太宰も
見てみたい

そうか…
では…

…と思う

…安吾の
入れ知恵
クサイが…

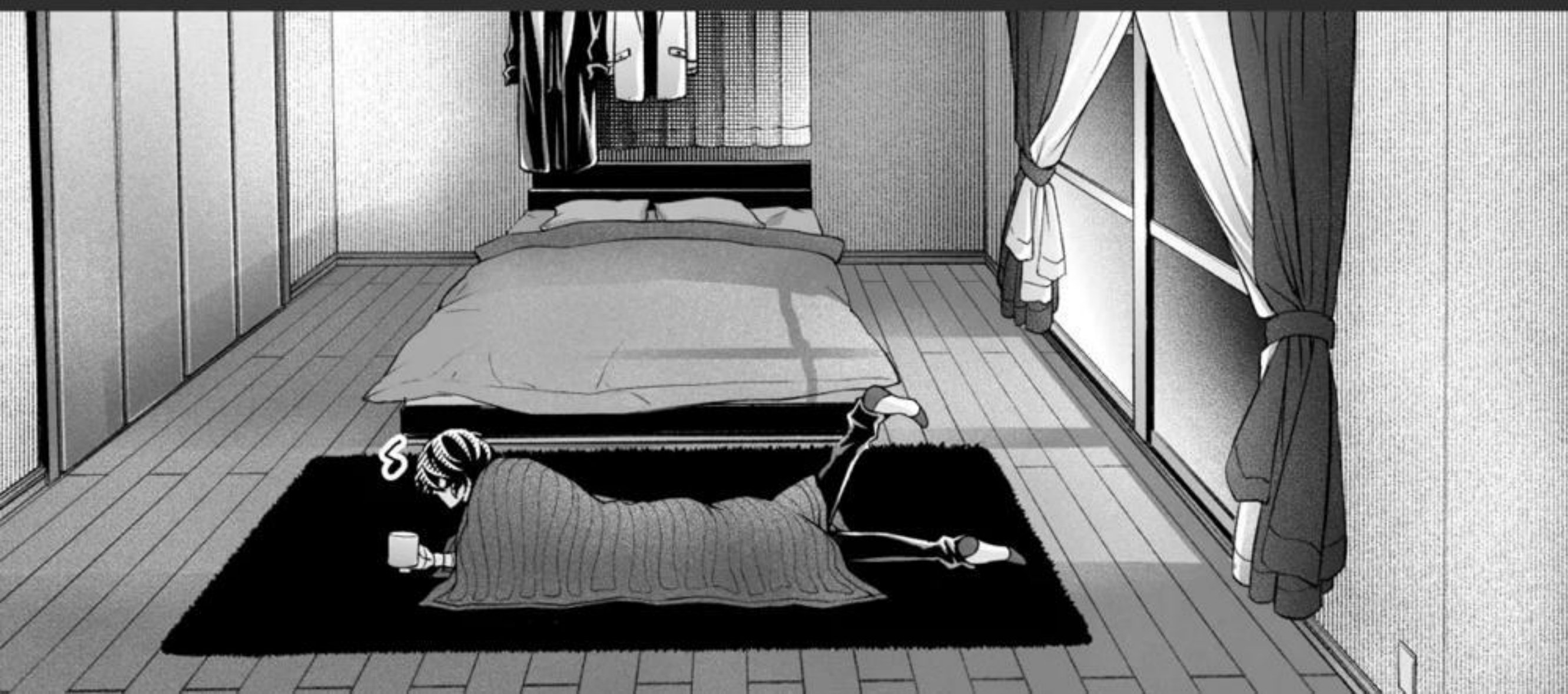
まっちゃん♡♡

織田作がそう
云うのなら

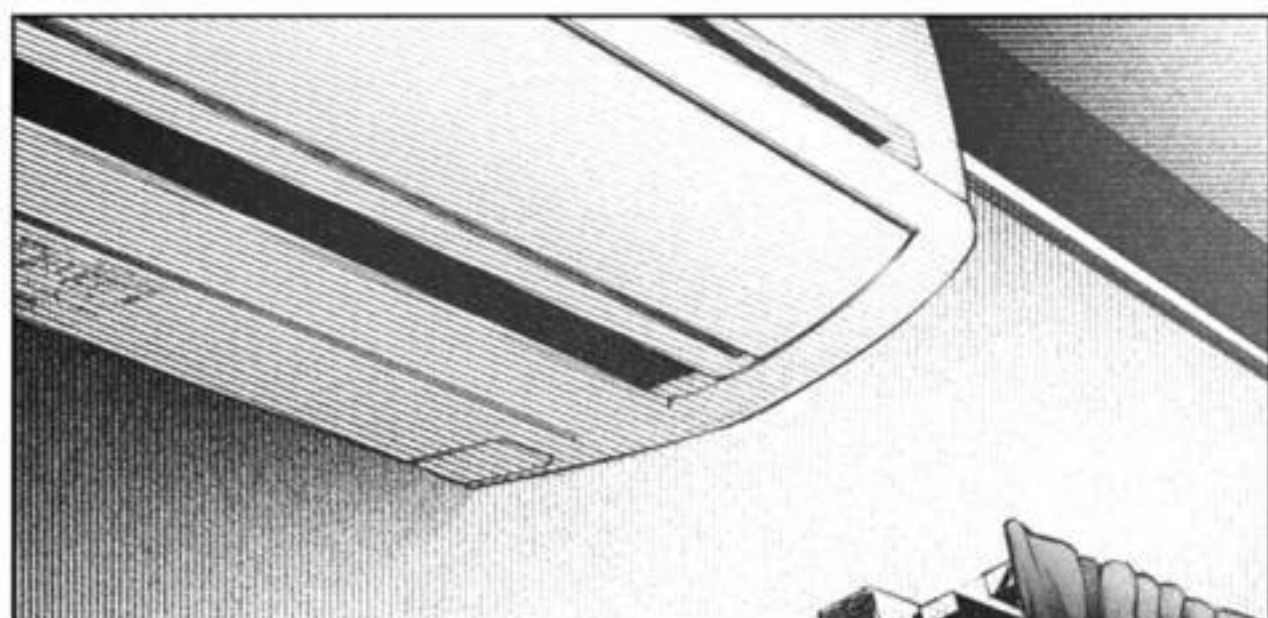
そうしよう♡

然し、結局この後太宰が大騒ぎしたということは云うまでもあるまい――…。





ストーブ、
炬燵などはなく、



エアコンはついているが
使用しない。

あるのは 電気カーペットと電気掛け敷布だけ――…。



あとは それらから放出される熱と
ガスコンロの熱

風呂の熱気で 部屋を暖め、



暖かい流動体を流し込み
内臓の冷えを緩和させる

悪戯に室内の空気を上昇させる類のものは一切使用しない。

暖まりすぎた空気は
脳の働きを著しく低下させ
身体の動きを鈍らせる――…。

外気温との差を 極力抑えた室内環境。

殺さずを暫えと変えられぬ



身に沁み付き



落とせぬ染みとし沁み着いた

愛す可し
可哀れな生活習慣。

実に
心地がいい

おい太宰





織田作も
一緒に入って
仕舞えばいい♡
お約束だよ

太宰…
えっ…
えっ…

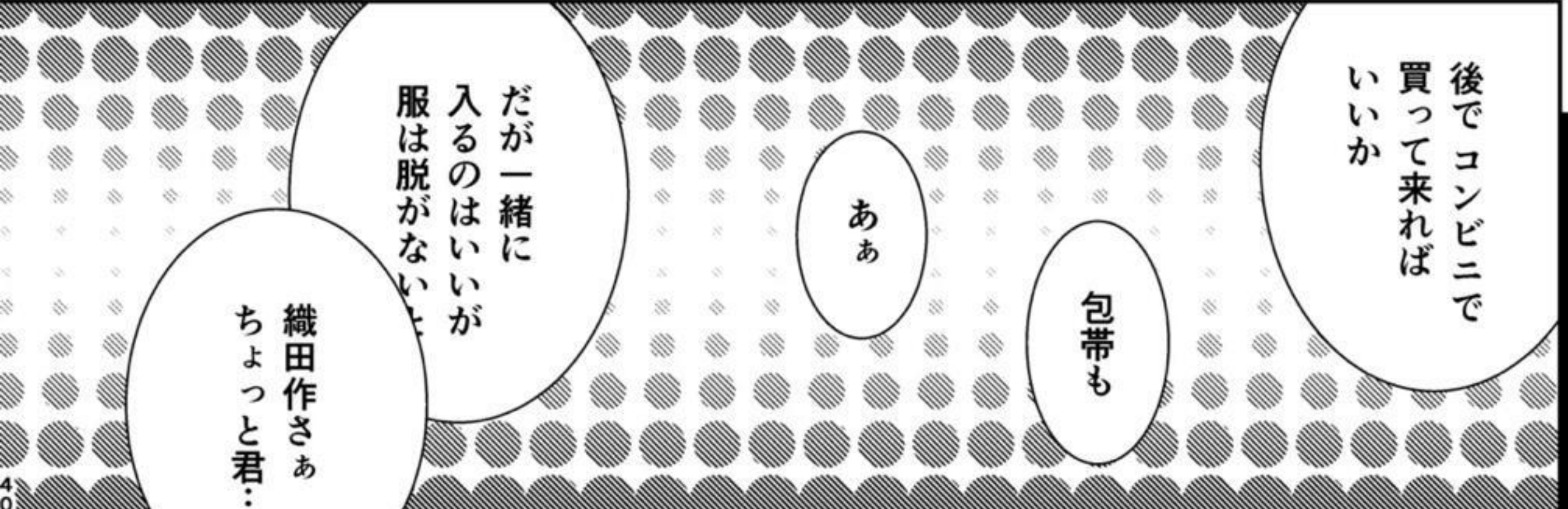


まあ
こうなったら
仕方ないが
太宰さあ
この天気じゃ
服すぐ乾か
ないぞ？

織田作の
借りる♡
パンツ
も♡

…なんか
ソレは嫌だ

何でさっ!!



後でコンビニで
買って来れば
いいか

包帯も

ああ

だが一緒に
入るのはいいが
服は脱がない

織田作さあ
ちよつと君…





織田作？

ミミミ...

.....



ああ…すまん

いや…なんか
濡れてるのに

まどろい



包帯で全部
透け切らないのも
………意外と…
悪くないもんだな

…って思った

おお



織田作其れは
若しかして

織田作は今
私を見て興奮して
いるということ
かい？

ああ

おお

おお

とこよお、だ
つキリだ、が、

因みに君は今
どのくらい私に
興奮しているの
だろうか

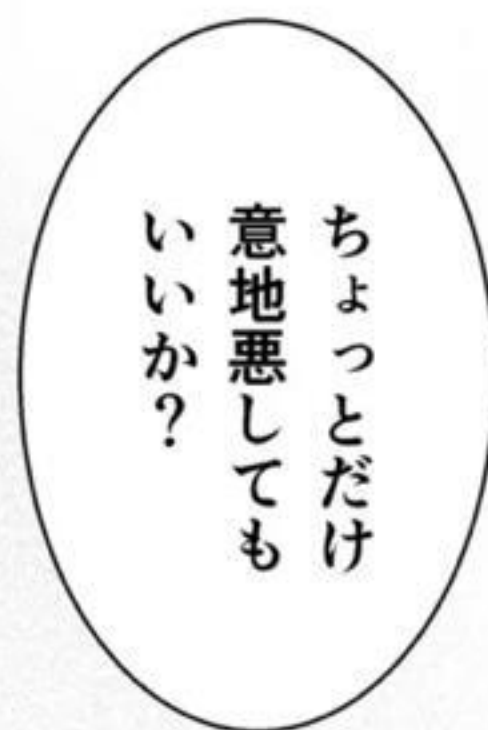
沢山…
だからさ…



ああ
勿論だよ
織田作♡



一寸と言わず
私は幾らでも
大歓迎だ♡



ちよつとだけ
意地悪しても
いいか？



悪いちよつと
潤滑油的なもん
持って来る

ああ
それなら
心配ない

私持ってる
から♡

はあ?!



はい♡

ローションと
ワセリンと…
ゴム♡

……。

太宰お前何で
こんなモン
持ち歩いてる
んだ？

いや…
大事なコトヤ
なんやガミ

サワサワ
ワッ
コイ
ン
の
た
ね

備えあれば
憂いなしだよ
織田作

此れで私は
何時でも何処でも
君との情事に及ぶ
ことができる♡

……。



出て

うん♡



そのまま
後ろ向きで

うん♡



腕後ろで
組んで

うん♡

で？織田作は
どの様に
私を甚振って
くれるのだろう

まあまあ
いいか…
色々…

オハッ



そのまま
動くなよ

絶対だ

へ？



これで
良いのかい？
織田作

ああ



はっ…

…あ

太宰

す。

手

ごめんなさい
は？太宰

え…

織田作

あ

言ったら
ご褒美くれる
かい？

ああ

い…

う

ぐんぐん

に

ごめん…
……なさい…

よく
できました

織田作
ご褒美は？

あ

ん…

に…



ああ
ご褒美な
コレで
どうだ？

……おださ……
両方したら……
……私……っ

大丈夫じゃない：

おい大丈夫か？
足笑ってるぞ

そうか

…ケド…大丈夫



あーっ!!

ハッ!!

イイか? 太宰

ハッ!!

あーっ!!

ハッ!!

あーっ!!

……ン…
イイ……
……先イイ

おださく…
舌……凄…
吸い付いて…

あーっ!!

あ

ハッ!!

ハッ!!

ハッ!!

あ

ハッ!!

あーっ!!

ハッ!!

ハッ!!

あ

あ

……けれど

私まだ全然
足りていないのだよ
織田作…

……だから

ハッ!!

あ

ア

ハッ!!

ハッ!!

織田作…
……もっと…

あ

ハッ!!

もっと……
……欲し…

了解 太宰

あ
あ
あ

あ

ハッ!!

あ





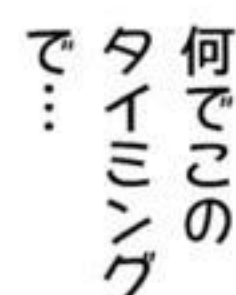
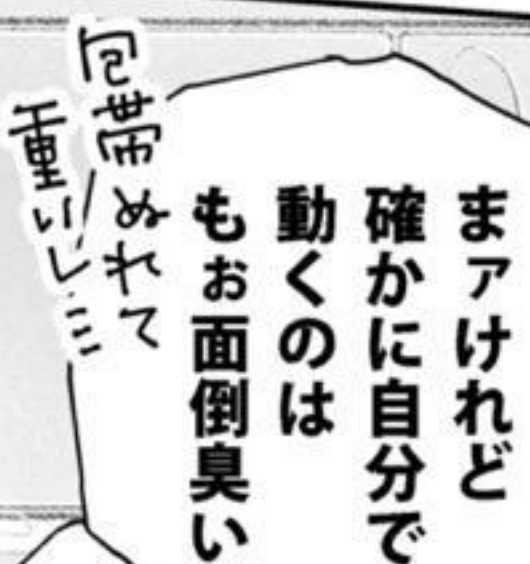
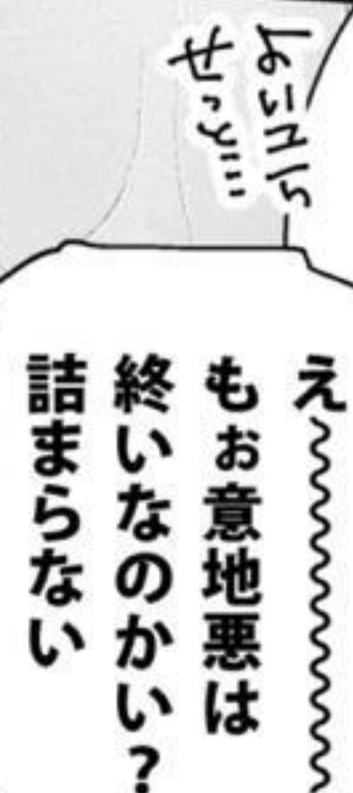
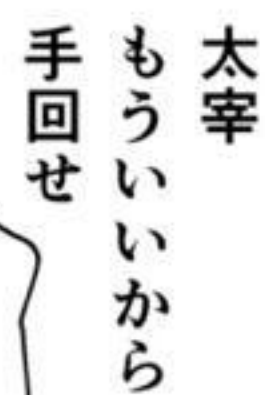
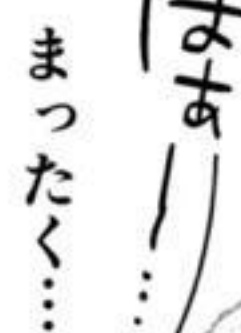
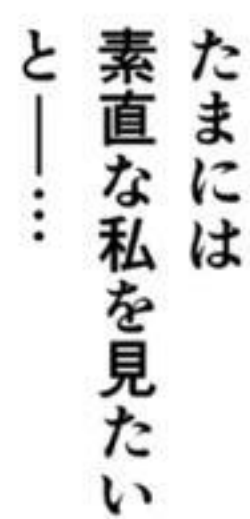
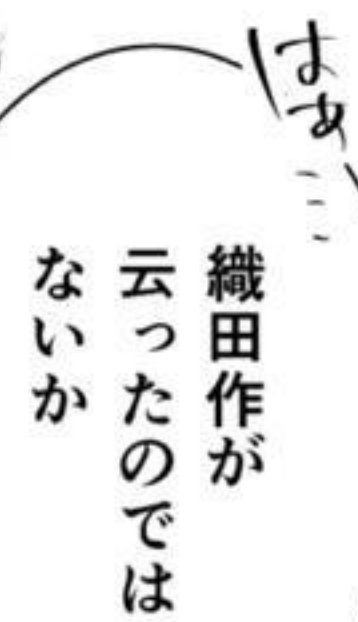




太宰お前
今日なんか凄い
素直だな

面倒臭いとか
言われると
思ってたが...

.....だって







……なあ 太宰？
もういいか？

まだ厭だ

……太宰……

厭

サッ



嗚呼 そう云えば
織田作
私今度君の
助手席に乗って
みたいのだが？

助手席？
ドライブか？

ああわかった
連れてってやる



連れてって
やる？

「今度の休みに
俺とドライブに
行ってくれない
か？ 太宰♡」



今度休みにオレと
ドライブに行って
くれないか？

だぞ♡

織田作が
そこまで云うなら
仕方ないねえ

サッ

太宰
じゃあ
いくぞ？

織田作
——

私矢ッ張り
まだ厭だ

だ……



太宰ー

包帯と下着
買って来たぞ

ナニヤ

ん？
……あれ

寝た……

……か

おい
何してんだ？
なんか凄え
寒いケド……

太ざ……

……い





太宰 お前
何してんだ!!
風邪引くぞ!!

其の内



春に雪が降るのも
当たり前になって
しまうのかねえ…

織田 作

え？



煙草の価値が
時代と共に
変わった様に

人の価値観
だけでなく

自然さえも
変わってしま
うのだね

其れも
人が彼らの秩序を
乱した結果なのか

ただ単に
彼らも生命体が故に
死に近づいている
だけなのか……

然し
其の点に於いても

変化の善し悪しに
関する論争に
於いても

私は然程
興味はない
のだよ

周りから見れば
そんなことより
更に下らない
低俗なコトだよ

私がそんな人間を
目の当たりにしたら
鼻で笑い飛ばして
いるね

じゃあ何が
引っ掛かって
るんだ？

然し
私にとっては
重大な問題……



織田作

全てが変わった時

否

変えられてしまった時

織田作は
変わらず私の隣に
居るのだろうか



織田作
嘘で構わ
ない





狡いね…君は

そうやって君は
私を散歩にすら
行かせてくれない…

君は実に
私・誑・しな
男だ



それより
織田作

ん？





織田作？

A close-up manga panel showing a young man with long, dark, wavy hair leaning in to kiss a young woman. The woman has short, dark hair and is looking up at him. Her hand is near her mouth. The background is dark and out of focus.

ん？



.....君は...
暖かいね——...

A full-page manga illustration of a young man and woman embracing on a balcony at night. The man is holding the woman from behind. They are both looking at each other. The balcony has a railing, and there are curtains to the right. The floor is wooden, and there is a dark rug in the foreground. The background is dark with some light spots, possibly snow or stars.

そうか？

ねえ、織田作？ 来年も 春ノ雪が降るだろうか――…。

※後日 — 〇〇〇



転載・アップロード・転売を禁じます。

春
ノ

令和元年 伍月 伍日 (日) : 発行日

金沢印刷 様 : 印刷所

雨夜 雨音-マルジナリア- : 発行

amn.amy.mr0000@gmail.com : 連絡先

[感想フォーム]

雪



チェックボックス式の感想フォームです。
お答え頂ければ幸いです。

奥付

18歳未満の閲覧・購入を禁じます。

其して――…。

其の次の年も、春ノ雪が降った——…。



冷たい風が

幾度も幾度も 私の隣を 駆け抜けては 去っていった — …。

